

まだまだ残暑の厳しい日が続きます。今年の夏は猛暑の日が続きましたが熱中症対策は万全でしたでしょうか。大隈記念館でも毎日セミの大合唱でした。今年の夏もいろいろなことがありましたので皆様にご報告いたします！

～大隈記念館の出来事～

子ども大隈講座開催！



↑「子ども大隈講座」施設内見学の様子

早稲田大学教育・総合科学学術院と佐賀市教育委員会が連携して進めている「早稲田・佐賀21世紀子どもプロジェクト」の一環として、8月10日に小学生・中学生を対象とした「子ども大隈講座」が開催されました。大隈記念館で開催された「子ども大隈講座」には、小、中学生とそのご家族をはじめ、一般の来館者にもご参加いただきました。記念館と生家を見学の後、『大隈重信の生き方』と題して講演を行い、猛暑の中、参加された皆さんは熱心に耳を傾けられました。

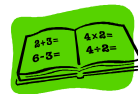
職場体験の受け入れ

夏休みを利用して、佐賀市内の中学生が職場体験に大隈記念館を訪れました。大隈重信について学んだほか、展示資料の並び替えなどを体験してもらいました。最初は戸惑いながらの中学生も最終日にはしっかりと挨拶できるようになり、仕事にも積極的に取り組んでいました。



職場体験中の皆さん↑展示資料準備中

八太郎塾開催



昨年引き続き、「八太郎塾」を大隈重信生家にて8月2日～24日の三日間行いました。佐賀大学の学生さんたちが小・中学生の夏休みの宿題のお手伝いをしてくれるという塾で、連日30名近い子どもたちが勉強しに来てくれました。



「八太郎塾」の様子↑

ボランティアグループ「まきの会」通信

「まきの会」では毎月第3水曜日に定例会を行っています。今月の定例会では生家一般公開の時の新たなおもてなしについて話し合いました。ガイドに加えて紙芝居や折り紙などを実施していますが、今年はさらに違った形のおもてなしも期待できそうです！今年の生家一般公開は10月31日から11月4日までのバルーンフェスタ開催期間中です。この機会に皆様是非、大隈記念館・生家に足をお運びください！！



「まきの会」定例会の様子↑

大隈重信と江藤新平にまつわるひとつのお話

佐賀の偉人達の中で、大隈重信と江藤新平は共に政府で大活躍しますが、晩年の違いからかよく比較され、4歳上の江藤が40歳で刑死するのに対して大隈は中央で華々しく活躍し、85歳の長寿を全うした為に半官半民というか大隈の方が江藤に比べて佐賀での評価が今ひとつのような気がします。これに関して大隈と江藤との興味深い話を、早稲田大学の故木村時夫先生の本からご紹介します。今から60数年前、木村先生が早稲田大学高等学院の新任教師だった頃、まだ生徒たちの名前を覚えていないとき何かの話で

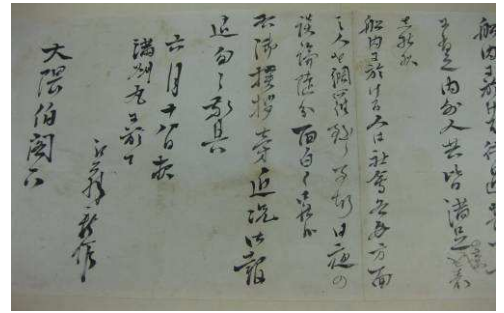
「江藤新平は法律に謀反人は死刑に処すと自分で規定したが、最初にそれが適用されたのは江藤自身であった」と話したところ、ある生徒がひとときわ愉快そうに笑ったので名札を見ると、江藤作平とあったそうです。

先生は「江藤新平と何か関係があるのか」と尋ねてみると、彼は「ひ孫です」と答えたそうです。先生は「江藤家としては大隈さんを良くは思っていないかもしれないのにどうして作平君が早稲田に来たのか」と聞いたところ、作平君の祖父の新作(新平の次男)が大隈家に引き取られ、東京専門学校(後の早稲田大学)を出してもらったことを知り、さらに作平の父夏雄(元衆議院議員)も早稲田を出たし、作平君も早くから早稲田を目指して「大隈さんの優しさと偉さを自分は知っているつもりだ」と話してくれたそうです。このようなことから、木村先生は「大隈さんは政治的路線は違っても、江藤に対する友情を忘れることはなかった」と結論づけています。

▲ 江藤新作の書翰

明治37年6月18日

大隈は江藤新平の次男であった新作を大変可愛がり何かと庇護した。この手紙は新作から大隈に宛てた近況報告で、冒頭には日頃の感謝の意が記されている。(当館蔵)



(なお江藤作平氏は平成7年に没)

～早慶戦110周年記念～オール早慶野球戦開催！！



↑早大野球部の皆さんが記念館に来てくれました

8月24日(土)みどりの森県営球場に約7000人もの人が集まり、賑やかな応援で熱気に包まれました。雨の為に試合開始が遅れましたが、早稲田の応援席では「紺碧の空」が夜空に響きわたり早慶ともにヒートアップした試合でした。結果は8-3で早稲田が勝利しました。当日は早稲田大学の野球部の皆さんが、翌日は早慶の応援団の皆さんが当館を来館されました。



↑応援団員による応援の様子

記念館よりお知らせ

◎ 展示資料のご案内

「福沢諭吉と大隈重信」



2人が初めて出会ったのは明治4年から7年の間と言われています。それまでは何となく反感をもっていた2人は話をしてみると、たちまち百年の知己のごとく親密になったのちに大隈は述べています。早慶戦などでライバル視するイメージが強いですが、実際はそうではなかったようです。記念館には福沢諭吉だけでなく、野口英世や乃木希典などと写った写真も展示しています、ぜひご覧ください。



◎ 生家一般公開のご案内

10月31日(木)～11月4日(月)までバルーン開催時期にあわせて生家の一般公開を実施いたします。大隈記念館職員一同、ご来館心よりお待ちしております。